

令和7年10月24日研究公開報告

令和6・7年度地区指定研究協力校研究公開

令和7年度 曾於地区へき地・小規模校教育連絡協議会研究委嘱校

志布志市立松山中学校で

「学力向上」についての研究公開が開催されました。

10月24日(金)に、志布志市立松山中学校にて、地区研究協力校・曾於地区へき地・小規模校教育連絡協議会研究委嘱校「学力向上」の研究公開が行われました。松山中学校では、研究主題を「主体的に学び、表現できる生徒の育成」、副題を「協働学習と振り返りが生み出す学びのつながり」と設定し2年間の実践的な研究に取り組んできました。

当日は、必要性のある話合いや振り返りの視点を明確にし、学習のつながりや自他の成長を実感できる取組を行ったことで、生徒が主体的に学び、友達と協働して課題を解決していく様子が見られました。



〔これまでの学習を基に表現する様子〕

【研究発表】

研修係の牟田教諭が、設定した目指す生徒の姿に基づき、授業設計の工夫と実践事例を交えながら、これまでの成果と課題について研究発表を行いました。

【主体的に学び、表現できる生徒】の姿

主体的に学ぶ姿

- ・ 学びに関心をもち、課題に向き合っている。
- ・ 他者の考えを聞き、自らの考えを深める。
- ・ 学びを振り返り、次へ生かそうとしている。

表現できる姿

- ・ 自分の言葉で意見を相手にしっかり伝える。
- ・ 教科に応じて学んだ図表や式など多様な方法で分かりやすく表現できる。

【授業設計の工夫】

- 1 主体的に学び、表現する場の設定
 - (1) 主体的な学びを目指した授業の流れの共通化
 - 生徒が主体的に見通しをもって学習できる授業の流れ
 - (2) 生徒同士が自由に学び合える場の設定
 - 必要性のある話合いの場
 - (3) 新聞ワークシートへの取組
 - 毎週木曜日の継続的な言語能力育成の取組
- 2 学びのつながりの意識化
 - (1) 全職員で取り組む授業改善
 - 共通実践事項「松山スタンダード」に基づく授業改善
 - (2) 学びについての「振り返り」
 - 「わが友せいぎ」で視点を明確にした振り返り
 - (3) 教科間での相互研修
 - 学期1回の相互研究授業の実施



〔研究授業の様子〕

【公開授業：第2学年 理科】

単元 「化学変化とその利用」

(大単元 化学変化と原子・分子)

生徒は、導入でカイロを用いた事象提示を受け、身近な現象を手掛かりに学習課題を立てました。

展開では、鉄粉の酸化による発熱反応と水酸化バリウムの吸熱反応を比較実験し、気付いた相違点や共通点をグループで協議し、ロイロノートに整理しました。教師は観察の視点や考察の深め方について助言し、生徒の学びを支えていました。

終末では、明確な視点で振り返りを行い、自他の成長に気づき、これまでの学習とのつながりを実感していました。



〔学び合いの様子〕

【授業研究】

授業研究では、研究の視点に基づいて、参加者から様々な意見が出され、有意義な協議が行われました。

事象提示から学習課題の設定、比較実験を通じた考察までの流れの中で、特に比較実験の意図を明確にする重要性が話題となりました。

仮説を立て、自分の考えを実験で確かめる学びの意義についても意見交換が行われました。

振り返りの視点を明確にしたことで記述が充実し、生徒が自分の言葉で考察する姿も共有されました。



〔授業研究の様子〕